

# 令和7年 推薦図書

## これならど～お？

～この夏、君にオススメの本はこれだ！～

時津町立中学校図書館・時津図書館 司書

・表示価格は本体価格（税別）です



『あるいは誰かのユーウツ』 【日本文学】  
天川 栄人/著 講談社 (¥1,600)

自分の気持ちに関係なく大人に近づいていく身体。声変わり、生理、体毛、恋愛など、中学2年生のユーウツは人それぞれ。ユーウツと向き合い前進しようとする登場人物6人の姿は、読む人の心まで上向きにしてくれそう。



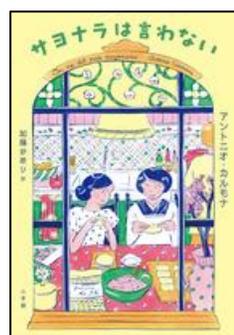
『オンライン・フレンズ@さくら』  
『オンライン・フレンズ@ユナ』 【日本文学】  
神戸 遥真/著 カシワイ/絵 講談社 (各¥1,500)

オンラインで知り合った中学生さくらとユナ。ビデオ通話をするうちにどんどん仲良くなっていくが、ふたりには相手に話せない秘密が……。双方の視点で描かれた2冊は、どちらからでも読めるが、読む順番によって受ける印象は変わってくるかも。あなたはどちらから読む？



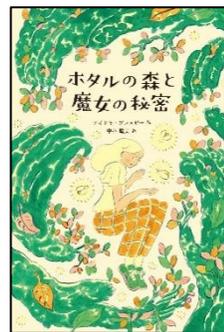
『てつぼうの鳴る浜』 【日本文学】  
森川 成美/作 小学館 (¥1,300)

時は鎌倉時代。12歳の長種は武士がいやで、博多の商人の家で奉公しようと家出するが、水軍の大將につかまってしまう。そんな中、元との戦いに巻き込まれていく。さて、長種の運命は……。



『サヨナラは言わない』 【外国文学】  
アントニオ・カルモナ/作 加藤 かおり/訳 小学館 (¥1,600)

日本人のママとフランス人のパパをもつエリーズ。ママが死んでからはパパと二人、フランスで暮らす日々を送る。ママの死をきっかけに日本とのつながりがなくなった生活に喪失感を覚えるなか、日本からソノカおばあちゃんがやってきたことで日常に変化がおとずれる。



『ホテルの森と魔女の秘密』 【外国文学】  
アイシャ・プシュビー/作 中林 晴美/訳 フレーベル館 (¥1,600)

中東のクウェートからイギリスへ引っ越ししたヘイゼル。はじめての環境で不安になっていく中で、三匹のホテルに森へと誘い出され……。友達や大おばさんに支えられながら、謎めいた世界の秘密に向き合う少女の成長物語。



『戦争は、』 【戦争・平和】  
ジョゼ・ジョルジェ・レトリア/文 アンドレ・レトリア/絵 木下 真穂/訳 岩波書店 (¥2,000)

戦争は、何も知らない人たちの日常に突然のび寄りってくる。まるで病気のように。やがて夢の中にも。自らも独裁政権に抵抗した詩人とその息子が描く、今こそ読んでほしい1冊。



『13歳からの自分の心を守る練習』 【心理学】  
谷本 恵美/著 PHP 研究所 (¥1,500)

「小さながんばりを集めてみる」、「自分に許可を出して堂々と休む」、「しんどい人からは黙って逃げる」など、自分の心を守る技術が全部で15個。無敵になれる訳ではないけれど、きっと今までより心が楽になるはず。



『NHK カガクノミカタ 自分だけの「フシギ」を見つけよう!』 【科学】  
NHK「カガクノミカタ」制作班/編 ヨシタケ シンスケ/絵 NHK出版 (¥1,600)

身近なものの中にひそむ、「フシギ」のを見つけ方を紹介。日頃の何気ないモノやコトに注目すれば、必ず「フシギ」が見つかるはず。自分で見つけたテーマを使って観察や実験をしてみよう。自由研究の手助けに最適な1冊。



『猛暑対策 BOOK 日本はやばい夏を最新科学の力で乗り切る!』 【医学】  
藤井 直人/著 小学館 (¥1,300)

日常生活での猛暑対策は、ちょっとした意識で変わる。衣食住にまつわることや、運動時の猛暑対策のウソ？ホント？など、この夏を乗り切る方法をさがしてみよう。



『マンガでわかる 漢字熟語の使い分け図鑑』 【言語】  
大島 中正/監修 北澤 篤史/著 講談社 (¥1,500)

使い分けに悩む二字熟語が、かわいいマンガとともに50音順で多数掲載。文例と使い方のコツを読んで同音異義語を正しく理解すれば、漢字熟語力がUPすること間違いなし。ことば選びのセンスを磨こう！